

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋建築環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新E1棟ビル	階数	地上6F,塔屋1階
建設地	名古屋市瑞穂区須田町2-56	構造	S造
用途地域	工業地域、一部商業地域、準防火地域	平均居住人員	800 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2019年10月17日
敷地面積	56,603 m ²	作成者	
建築面積	2,327 m ²	確認日	2021年10月29日
延床面積	11,961 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE3.0 ★★★★★

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超 ☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 60% : 39%

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.4

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	工場での低温排熱の有効利用などの敷地特性を生かした省エネルギー性の高い計画。放射空調やエコポイドによる自然採光・自然換気の促進による室内環境の向上、前面歩道沿いへ緑のファサードの創出による積極的な緑化により、外部環境の向上も目指した計画としている。	
Q1 室内環境	エコポイドによる自然採光・自然換気、放射空調とデシカント空調機の採用による潜熱分離空調により、快適性の高い室内環境を実現している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	執務空間におけるリフレッシュスペースの充実、耐震壁をコアにまとめたフレキシブルな計画、天高3m・南面採光の明るく開放的なオフィス、維持管理のしやすい内装材の採用等の工夫を行っている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	前面歩道沿いに200mに渡る緑のファサードを創出。積極的な植栽により室外環境にも十分に配慮した計画としている。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	工場排熱の有効利用、高効率熱源、エコポイドによる自然採光・自然換気、クール&ヒートチューブ等の採用により高い省エネルギー性能を有する計画としている。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	節水に配慮した衛生器具の採用、リサイクル内装材の採用、断熱材の使用材料の配慮などを行っている。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減、駐車場の十分な確保、光害対策など敷地外環境に配慮した計画を行っている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される